

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	030401030	予算コード	01020200	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A	
事務事業名	障害者ホームヘルプサービス事業			正規職員数	0.25	国庫支出金	178,578	有効性	障害児者が地域で安心して生活していくためにも、居宅介護のニーズは非常に高くなっている。利用時間数についても年々増加している。	
担当課	地域共生推進課			嘱託職員数	0	府支出金	89,289	B		
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数	0	市債	0	効率性		C
	■法律・政令・省令 ■条例・規則			歳出(千円)		その他	0	妥当性		B
	障害者の日常生活及び社会生活を支援するための法律(障害者総合支援法)、泉佐野市身体障害者福祉法施行細則、泉佐野市知的障害者福祉法施行細則、泉佐野市児童福祉法施行細則			人件費総額	2,206	一般財源	91,497	受益者負担		C
						減価償却費	0			
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	359,364	緊急性	A	事務事業実施内容		
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	3,572			利用者数260人、利用時間数68,555時間		
対象				活動指標		H30実績	公的関与	A		
特定の市民	対象数	525		ホームヘルプ支給決定者数	525.0					
身体障害者、知的障害者、精神障害者等				ホームヘルプ支給決定時間数	16,540.0		実施主体・委託化	A		
事業の内容							他の事務事業との関連	A		
障害者総合支援法に基づき、在宅障害者にホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助等のサービスを提供する。また、平成23年10月からの法改正により、重度の視覚障害者の移動支援として「同行援護」サービスを実施。				成果指標		H30実績	透明性	B		
				ホームヘルプ利用者数	304.0					
				ホームヘルプ利用時間数	86,425.0		財政健全化計画	該当なし		
							財政健全化の取組	該当なし		
事業の目的				コスト指標		H30実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
身体障害等を有することにより、家事や外出等地域での自立した生活が困難な方が、ホームヘルプサービスを利用することで日常生活を営むのに必要なサービスを受け、地域で安心して自立した生活を送ることを目的としている。				ホームヘルプ利用者1人当たりの経費	1,182,118.0					